



「センセーシヨン」ガ起ツテ居ツタノデア  
リマス、政府ニ於テモ既ニ之ヲ御認ニ  
ナツテ、大藏大臣ノ如キハ屢々此本院ノ  
有ユル機會ニ於テ、昨年ノ我國ノ正貨  
ガ海外ヘ甚ダシク流出シタ原因ガ、此  
政情ノ不安ニ主ナル原因ヲ持ツテ居ル  
トマデ 大藏大臣ガ説明セラレテ居ル  
程、是ハ國民ノ重大ナ關心事デアッタノ  
デアリマス、而シテ今日尙果シテ此海  
軍ノ提出サレマシタル所ノ補充計畫  
デ、我ガ國防ガ安全デアラウカドウデ  
アラウカ、其兵力量ナルモノハ、我ガ祖  
國ヲ護ルニ十分デアルカ、ドウデアラ  
ウカト云フコトニ向ツテ多大ノ疑ヲ持ツ  
テ居ルモノデアリマス、斯様ニ國民ガ  
焦慮シテ居ル際、我國ノ海軍ノ國防ニ  
向ツテ非常ナ關心ヲ持ツテ居ル際ニ、此  
減稅案ガ出タノデアリマス、故ニ吾々  
國民ノ心情カラ申シマスルト云フト、  
茲ニ責任アル海軍ノ當局者ガ、此御提案  
ニナツタ補充計畫デ、我國ノ海軍ノ國防  
ヲ責任ヲ以テ差支ナイト云フコトニナリマ  
スレバ、假令一錢デモ一厘デモ、其剩レ  
ル所ヲ減稅ニ御向ケ下サルコトハ非常  
ニ感謝致スノデアリマス、併ナガラ是  
ニハ相當ノ金ガ要ル、斯ウ云フヤウナ  
實情デアリト致シマスレバ、吾々國民  
ト致シマシテハ、實ニ昨今ノ此深刻ナ

ル殺人的不景氣ノ状態ニ於テハ、幾分ナリトモ減税ヲシ、負擔ノ輕減ヲ圖ッテ願ヒタイト云フコトノ希望ハ勿論十二分デアリマスケレドモ、ソレヲ忍ンデサヘモ、我ガ國防ノ充實ヲシテ貰ハナケレバナラヌト云フ考ハ、一層又熾烈デアルノデアリマス、斯様ナ國民ガ、此負擔ノ輕減ヲ希望スル熱情ノアルト同時ニ、國防ノ安全ヲ期シタイト云フ熱望ハ一層ソレ以上デアル、此實情ヲ海軍大臣ハ御承知下スッテ、此國防計畫ニ付テ如何ナル状態ニ在ルノデアラウカ、吾々國民ニ能ク理解ノ出來ルヤウニ、軍機軍令ニ關シナイ範圍内ニ於テ吾々ノ安心ノ出來ルヤウナ説明ヲ戴クト云フコトハ、海軍ノ當局トシテ當然ノコトデアラウト思フノデアリマス、啻ニ其職責上當然デアリマスルノミナラズ、吾々國民ガ斯クマデ海軍ニ同情シ、海軍ニ信賴シテ居ル此國民ノ誠意ニ對シテモ、海軍大臣トシテハ隱ス所ナク、腹藏ナク吾々ノ諒解スルダケノ御説明下サルコトガ當然デナカラウカト思フノデアリマス、殊ニ私ガ申スマデモナク、海軍ノ國防ハ海軍ノ軍人ノ方々ノミニ依ツテ維持サル、モノデハナイノデアリマス、國民一致ノ力ヲ以テ、海軍ヲ支持スルコトニ依ツテ、初メノデアリマス、故ニ國民ノ諒解ナシ

ニ、海軍ガ如何ニ御努力ニ相成ッテモ、日本ノ國防ハ完全トハ言フコトハ出來ナイト思フノデアリマス、斯様ナ意味合ニ於テ、隱シ隔テナク、吾々國民ニ諒解サシムルヤウニ誠意ヲ以テ御説明下サルト云フコトガ私ハ望マシイコトデアリ、又當然ノコトデアルト思フノデアリマス、或ハ此軍事費ガ多イト云フヤウナ議論モ隨分アルノデアリマス、是ハ議論ガ色々立テラレマセウ、併シ吾々國民カラ見マスルト云フト、今申上ゲタル如ク、我國ノ國情トシテ海軍ノ國防ハ絶對的必要ガアルト云フ見地カラ考ヘテ見マスルト云フト、我國ノ海軍ノ國防費ト云フモノハ、必ズシモ多イトハ見ラレナイノデアリマス、之ヲ列國ノ情勢ニ比較シテ見マシテモ、英吉利ニ於キマシテハ總豫算ノ七・八「パーセント」ノ海軍費ヲ支出シテ居ルノデアリマス、又佛蘭西ニ於テハ七・七・マス、伊太利ニ於テハ八・七「パーセント」ヲ支出シテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ我國ハ六・八「パーセント」ヲ支出シテ居ルニ過ギナインデアリマス、即チ此費用ノ點カラ申シマシテモ、五大國ノ中ニ於テハ、我國ハ海軍ニ費スニ必要アリト致シマスルナラバ、吾々所比較的少イノデアリマス、此點カラ申シマシテモ、若シ海軍ニ於テ絶對的

ハ如何ニ苦シクテモ、肉ヲ裂キ骨ヲ削<sup>ツ</sup>  
テモ、海軍ノ爲ニ支出スルコトヲ吝ム  
者デハアリマセヌ、故ニ今此處ニ提案  
サレテ居ル減税案ヲ、如何ニ吾々ガ國  
民ノ代表者トシテ扱フカト云フコトニ  
付キマシテハ、ドウシテモ海軍大臣  
ノ責任アル御答辯、吾々國民ノ了解シ  
得ル程度ノ説明ヲ戴イテ、現在ノ補充  
計畫ニ於テ何等ノ不安無シト云フコト  
ノ確信ヲ得ラレナイ中ハ、吾々ハ此減  
稅案ヲ扱フ上ニ於テ非常ニ困ルノデア  
リマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスト、若シ  
海軍大臣ニシテ、我國ノ國防ヲ安全ナ  
ラシムル所ノ、海軍ノ最小限度ノ兵力  
ヲ御用意下サル上ニ於テ、尙ホ費用ガ  
要ルト云フ確實ナル見込ガ前途ニ御ア  
リニナルナラバ、吾々ハ如何ナル苦ミ  
ヲ忍ンデモ、此減稅案ヲ忍ンデモ、負擔  
ノ輕減ヲシテ貰ハナクトモ、之ヲ海軍  
ニ提供シテ、我ガ此祖國ヲ安全ニ護ル  
ダケノコトヲ、海軍大臣カラ責任ヲ持ッ  
テ戴キタイト云フ、熱心ナル希望ガア  
ルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイノデア  
リマス、斯様ナ意味合カラ私ハ御伺  
ヲ致シタインデアリマス

萬圓ト稱シマスルモノハ、現實ニ此處ニ金ガ殘ツテ居ル譯デハ勿論ナイノデアリマス、之ヲ具體的ニ申シマスルナラバ、前ニ御計畫ニナッテ、主力艦並ニ補助艦ノ建造費ヲ、昭和六年ヨリ十一年度マデニ豫定サレタモノ、金額ガ、五百八百萬圓ニナルト云フコトデアリマス、然ルニ倫敦條約ノ結果、其主力艦ハ昭和十一年度マデ、海軍ノ休日ヲヤルコトニ相成リ、隨テ主力艦ノ建造ヲ將來ニ繰延ベルコトニ相成ツタノデアリマス、所謂今日政府ノ御計畫ニナッテ居ル場合ニ於テハ、一種ノ繰延デアリマス、外ノ費目ニアッテハ、政府ハ歳入ガ減ジタカラト云ッテ、ソレガ辻棲ヲ合セル爲ニ、色々ナ仕事ノ繰延ヲ爲ス、テ居ルノデアリマス、此海軍ノ場合ニ於テハ、主力艦ノ建造ガ休日ニナッタカラト云フ理由デ、繰延ニナッテ居ルノデアリマス、繰延ノ理由ハ違ヒマスケレドモ、

云フモノハ、ドウシテモ御建造ニナラカ、是ハ實際ノ狀況ハ、私素人ニハ分リカ、是ハ實際ノ狀況ハ、私素人ニハ分リマセヌケレドモ、ソレダケノ事アルノミデ、決シテ是ハ御止メニナッタノデハナイ、主力艦ハ繰延ニナッタガ、補助艦ハ制限ノ關係上豫定ヨリ少クナッタト云フ程度ノモノト私ハ承知シテ居ルノデアリマス、斯様ニ致シマスルト云フト、茲ニ五億八百萬圓ト云フモノハ確ト、茲ニ五億八百萬圓ト云フコトニ相成ルモノトハ思ハレナイト云フヤウナ考ヲ私ハ致スノデアリマス、先づ私ノ此軍縮剩實ニ残リ得ルト云フモノハ確和六年度ヲ以テ略終リヲ告ゲマスルアルカドウカト云コトヲ先づ第一ニ御同ヒシテ、其次ノ質問ニ移リタイト存ジマス

○安保國務大臣 武田サンカラノ御尋ニ御答致シマスルガ、武田サンノ最初ノ仰セニナリマシタ、此度提出ノ海軍ノ新タル計畫ヲ立テナケレバナラヌト云フコトニナリマシタ結果、此度ノ提案ト相成リマシタ次第デアリ兵力整備計畫ナルモノデ國防ガ安全ナマスガ、倫敦協約ハ御承知ノ通り、此方ノ帝國ノ最初ノ主張トハ一致シテ居リ云フコトニナリマシタノデ、約三分ノ二ニ減リマシタ事柄ハ、是ハソレダケ結果、補助艦ニ向ッテ或種ノ制限ガ加ヘラレテ居リマスカラ、前ニ御計畫通りノコトハ進マナイト云フダケデ、補助艦ニ付テハ制限ハ加ヘラレテモ、所謂「ネーヴアル、ホリデー」ガ確定サレテ居ルノデハアリマセヌ、故ニ補助艦ト

云フモノハ、ドウシテモ御建造ニナラカ、是ハ實際ノ狀況ハ、私素人ニハ分リマセヌケレドモ、ソレダケノ事アルノミデ、決シテ是ハ御止メニナッタノデハナイ、主力艦ハ繰延ニナッタガ、補助艦ハ制限ノ關係上豫定ヨリ少クナッタト云フ程度ノモノト私ハ承知シテ居ルノデアリマス、斯様ニ致シマスルト云フト、茲ニ五億八百萬圓ト云フモノハ確和六年度ヲ以テ略終リヲ告ゲルノハ御承知ノ通リデアリマス、又云フ程度ノモノト私ハ承知シテ居ルノデアリマス、斯様ニ致シマスルト云フト、豫テ御協贊ヲ經テ成立ツテ居リマス海軍ノ航空隊ノ十七隊ト云フモノモ、此昭和六年度ヲ以テ略終リヲ告ゲマスルアルカドウカト云コトヲ先づ第一ニ御同ヒシテ、其次ノ質問ニ移リタイト存ジマス

○安保國務大臣 武田サンカラノ御尋ニ御答致シマスルガ、武田サンノ最初ノ仰セニナリマシタ、此度提出ノ海軍ノ新タル計畫ヲ立テナケレバナラヌト云フコトニナリマシタ結果、此度ノ提案ト相成リマシタ次第デアリ兵力整備計畫ナルモノデ國防ガ安全ナマスガ、倫敦協約ハ御承知ノ通り、此方ノ帝國ノ最初ノ主張トハ一致シテ居リ云フコトニナリマシタノデ、約三分ノ二ニ減リマシタ事柄ハ、是ハソレダケ結果、補助艦ニ向ッテ或種ノ制限ガ加ヘラレテ居リマスカラ、前ニ御計畫通りノコトハ進マナイト云フダケデ、補助艦ニ付テハ制限ハ加ヘラレテモ、所謂「ネーヴアル、ホリデー」ガ確定サレテ居ルノデハアリマセヌ、故ニ補助艦ト云フモノハ、ドウシテモ御建造ニナラカ、是ハ實際ノ狀況ハ、私素人ニハ分リマセヌケレドモ、ソレダケノ事アルノミデ、決シテ是ハ御止メニナッタノデハナイ、主力艦ハ繰延ニナッタガ、補助艦ハ制限ノ關係上豫定ヨリ少クナッタト云フ程度ノモノト私ハ承知シテ居ルノデアリマス、斯様ニ致シマスルト云フト、豫テ御協贊ヲ經テ成立ツテ居リマス海軍ノ航空隊ノ十七隊ト云フモノモ、此昭和六年度ヲ以テ略終リヲ告ゲマスルアルカドウカト云コトヲ先づ第一ニ御同ヒシテ、其次ノ質問ニ移リタイト存ジマス

アリマスレバ、總括的ノ順數ト云ノハ、大體日本ノ要求ノ通リニナッタノデアリマスカラ差支ナイヤウナモノデアリマスガ、申上グマスマデモナク、各兵種ハソレバ、其戰鬪力ノ特長ガアルノデアリマスカラ、其色々ノ特長ノアル兵種ヲ綜合シテ作戦ノ計畫ヲ立テマスル其上ニ於キマシテハ、ソコニ不便ヲ生ズルト云フコトニナルノガ、所謂倫敦會議ノ結果トシテ、其處ニ影響ヲ被ル譯アリマス、ソレニ付キマシテ海軍首腦部ニ於テモ段々研究ヲ致シタノデアリマスガ、茲ニソレバノ對策ヲ講ズルニ於キマシテハ、此條約ノ不便カラ見タル所ノ影響ヲ緩和シテ、サウシテ國防方面ニ基ク所定ノ作戦計畫ヲ維持遂行スル上ニ遺憾ナイ、隨テ國防ノ上ニ不安ヲ來サヌト云フ事柄ガ、即見ガ一致シマシタ次第アリマス、其各種ノ對策ヲ講ズルト云フ事柄ガ、即チ保有量——條約上ニ權利ヲ有チマシタ艦艇ヲ造ル、制限外ニ必要ナモノガアレバ、ソレモ造ル、航空隊ノ充實モヤル、内容ノ充實、實力ノ向上ヲ計ルト云フヤウナ、色々ノ方法ヲ講ズルニ於キマシテハ、所定ノ作戦計畫ヲ遂行スルノ計畫ヲ立て、此度提出致シマシタ案ニ、大體差支ナイト云フコトデアリマスカラ、ソレヲ考慮致シマシテ、此度ニシテ幸ニ御協賛ヲ經マスルコトニナ

リマスレバ、只今申上ゲマシタ國防ニ  
要スル兵力ノ必要ナル根幹ハ備ハル譯  
デアリマシテ、之ニ依ッテ國防ニ不安ヲ  
來タスコトガナイト云フコトハ、當局  
テモ、緊急ナモノヲ此度揃ヘマシタノ  
デアリマスカラ、是ハ今日ノ財政狀態  
ニ顧テ後ニ延バシテ宜イ、ドウニカ延  
バシテモ差支ナイト云フ見込ノ付キマ  
シタモノハ後ニ殘シマシタ次第デアリ  
マス、是ハ或モノハ一ツノ驅逐艦ノヤ  
ウナモノデ、型ガ出來テ居リマシテ、其  
型ノ大キナ、實際ニ造ル圖モ出來、其型  
モ出來テ居リマスレバ、極メテ短イ期  
日ノ間ニ建造ガ可能デアル、又驅逐艦  
ノ如キハ、十以上我國ニ於テモ建造ス  
ル工廠モアリ會社モアリマスル次第デ  
アリマスカラ、極メテ短イ期間ニ、必要  
ノ場合ニハ急造モ可能デアルト云フヤ  
ウナモノハ此度全部造ラナクテモ、幾  
ラカハ後ノ方ヘ殘シテ置イテモ宜カラ  
ウト云フ意味ニ於キマシテ驅逐艦十二  
隻ヲ此度建造致シマシテ、六隻分ニ當  
ルヤウナ噸數ハ後年度ニ殘シテアリマ  
スル次第デアリマス、又外國ノ此權利  
ヲ行使シマスル其模様ヲ見マシテ、ドウ云  
ウ云フ程度ニ行使ヲ致シマスカ、或ハ  
行使ヲスル其内容デアリマス、ドウ云

云フ狀況ヲ見マシタ後ニ、大體ノ見當ヲ付ケマシテカラ、ソレカラコチラデ計畫ヲ立て、建造ニ著手シテモ遲カラヌト云フ見込ノ付クモノハ、暫ク之ヲ後年度ニ延バス、斯ウ云フヤウナ意味ニ於キマシテ、此度ハ緊急ノモノ、ミ、又併シ根幹トナルベキモノハ全部之ヲ網羅シテ立テマシタノガ此計畫デアリマシテ、之ニシテ成立致シマスレバ、今申上ゲマシタヤウニ、國防上不安ナイト認メテ居リマス次第デアリマス  
次ニ保留財源ノ事ニ付テ、其性質ヲ御尋ネデアリマシタガ、一寸私意味ヲ十分呑込メナカツタ點モアルカト存ジマスルガ、違ヒマシタラ又更ニ御尋ネノ上デ御答ヲ申上ゲマスガ、保留財源ト云フノハ倫敦ノ軍縮會議ノ成立チマス前ニ、先程申上ゲマシタヤウニ海軍トシテハ六年度ニ終リマスルカラ、自然五年度ナリ何ナリカラ一ツノ計畫ガ立タナクテハナラヌト云フノニ付テ、主力艦及ビ補助艦等モ加ヘテ或ル計畫ヲ立テ、其計畫ヲ遂行スル上ニ必要ナシデ、其處ニ大藏省トシテ保留サレマシタモノガ五億八百萬圓ト承知致シテ居リマス、所ガ此度ノ條約デ、今武田ナリマシタ結果、主力艦ハ造ル必要ガサンモ御話ニナリマシタ通り、主力艦ハ六年間建造ヲ延期スルト云フコトニナイノデアリマシテ、隨テ此處ニ残リ

○武田委員

マシタ此保留財源ト云フモノカラ、先程御説明ヲ申上ゲマシタ是非トモ必要トスル兵力ノ整備充實ヲ圖ルト云フ意味ニ於キマシテ計畫致シマシタノガ三億七千四百萬圓ヲ六年度ヨリ十一年度マデニ支出スルト云フ意味デ計畫ヲ立てマシタノデアリマス、切詰メ得ベキ限りハ切詰メマシテ、今ノ保留財源ノ中ニ餘剩ト云フモノガ一億數千萬圓ハ生ジマシタノデ、之ヲ以テ政府ガ減税ニ充テラレタト云フ次第デアリマス○武田委員 大體御説明ヲ伺ヒマシテ了承致シタ點モ多クアリマスガ、尙ホ不明ノ點ニ付テ重ネテ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス、今海軍大臣ノ御説明ニ依リマスルト云フト、對米比率ガ總括的ニ七割デアル、大體其點ニ於テハコチラノ見込通リデアルガ、併ナガラ其内容ニ至ツテ、例ヘバ大巡洋艦ガ豫定通リニ行カヌ、潛水艇ガ豫定通リニ行カヌデ、比率ノ點ニ作戦上不便ナ點ガアル、斯ウ云フ御話ニ承ッタノデアリマス、其作戦上不便ナ點ガアルト申シマスコトハ、國防上缺陷アリト云フルカ分リマセヌケレドモ、兎モ角モ總括的ニ對米七割ヲ持ソト言ヒマシテガアルト云フ言葉ヲ使フノガ適當デアシタニ、其内容ニ至ツテ、豫定ノ作戦計畫ニ不便ガ生ズルヤウナコトガアルト云フ

意味ハ、兵力量ニ多少ノ缺陷ガアルト  
云フ意味ニ解シテ宜シイノデアリマセ  
ウカ、ドウデアリマセウカ、ソレニ伴ヒ  
マシテ其全體ニ於テ七割デアルカラ、  
ウナ裝備ノ改良ヲヤルト云フ手段、或  
ハ制限外ノ兵器飛行機等ヲ増設スルト  
云フヤウナ方法ヲ以チマシテ、其作戦  
計畫ニ缺點ノアル所ヲ補ヒ得ルカラ差  
支ヘナイト云フヤウナ意味ニ承ッタノ  
デアリマスガ、左様致シマスト、ソレ等  
ノ作戦計畫ニ不利ナル點ヲ補フト云  
フコトガ、所謂補充計畫ト云フモノニ  
ナルデアラウト私ハ解シテ居ルノデア  
リマス、左様ニ諒解シテ宜シイノデア  
リマセウカ、重ネテ御尋致シマス  
ソレカラ第二ノ留保財源ノ性質ノコ  
トニ付キマシテハ、私ハ斯様ニ伺ッタノ  
デアリマス、今海軍大臣ノ御説明ノ如  
クニ、所謂此度ノ五億八百萬圓ノ留保  
財源ナルモノハ、豫テノ豫定ノ計畫ト  
シテ、昭和六年度カラ一年度マデニ  
支出スルコトニ相成リマシタ、即チ昭  
和六年度ニ於テ千八百五十餘萬圓、七  
年度ニ於テ八千七百餘萬圓、八年度ニ於  
テ同ジク八千七百餘萬圓、九年度ニ於テ  
九千六百餘萬圓、十年度ニ於テ一億五  
百餘萬圓、十一年度ニ於テ一億一千二百  
餘萬圓、斯ウ云フ豫定ノ計畫ガ、使ハナ

ケテ宜イト云フコトニナツタ、其計ガ五  
億八百萬圓ニナツタモノト私ハ諒解致  
スノデアリマス、併シ六ヶ年度ニ互ツテ  
斯様ナ支出ヲスル所以ノモノハ何カト  
云フト、私ノ承知致シマス所ニ於テハ、  
主力艦ノ代換建造ト補助艦ノ建造デア  
ルト思フノデアリマス、所ガ主力艦ガ  
海軍休日ノ條約ノ結果、之ヲ後日ニ繰  
延ベルコトニナツタ、今大臣ノ御話デ  
ハ、私ハ繰延ベニナツタモノト承知シテ  
宜シイノデアリマスカト云フコトヲ伺  
タノニ對シテ、條約デ主力艦ヲ昭和十  
一年度マデ造ラヌコトニシタカラ、主  
力艦ヲ造ルコトハ要ラナクナツタト仰  
シヤツタ、ソコハ大變ニ意味ガ違フノデ  
アリマスガ御言葉通り、主力艦ノ建造  
ハ無用ナリトノ海軍當局ノ御意見ト承  
知シテ宜シイノデアリマスカ、或ハ最  
初私ガ伺ッタヤウニ、昭和十一年度マデ  
主力艦ニ付テハ海軍休日ノ條約ガ出來  
タカラ、十一年度マデハ代換建造ヲシ  
ナイデ宜イ、唯之ヲ十一年度以後ニ繰  
延ベタモノ——ソレデ他ノ例ヲ取ッテ  
申上ゲタノデアリマス、昭和五年度ニ  
於テモ、四年度ニ於テモ、政府ハ海軍ノ  
ミナラズ、種々ナル他ノ費目ニ付テモ  
多大ノ繰延ヲサレテ居ル、現ニ昭和六  
年度ノ豫算ニ付キマシテハ、昭和五年  
度ノ豫算ニ對シテ一億三千萬圓カラノ  
繰延節約ヲサレタ、其中ノ約半額ガ繰

延ニナッテ居ルノデアル、繰延ト、全然  
止メタトハ、大分其性質ガ違フ、是ハ  
倫敦條約ガナケレバ、十一年度マデニ  
主力艦ノ代換建造ヲシナケレバナラナ  
イモノヲ、海軍休日ノ爲ニ後年度ニ  
繰延ベタカラ、ソレダケノ金ガ浮ク、斯  
様ニ私ハ解シテ居ルノデアリマスガ、  
海軍大臣ハ主力艦ノ建造ハ要ラナク  
ナツタト仰シャル、其要ラナクナツタト  
云フコトハ後年度ニ繰延ベタト云フ、私  
ノ申上ゲタヤウナ意味ト同一ナ意味デ  
アリマセウカ、全ク主力艦建造ハ必要  
ナルト云フ意味ナノデアリマセウカ、  
其點ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス  
モウ一つハ五億八百萬圓ト云フ餘剩  
財源ト云フモノハ、主力艦ノミニ當テ  
ラレタ金デハナイ、補助艦ニモ當テラ  
レタ金デアルノデアリマス、然ルニ主  
力艦ハ昭和十一年度マデ延期ニナリマ  
シタケドモ、補助艦ニ於テハ必シモ左  
様ナコトデハナイ、若シ倫敦條約ニ於  
テ昭和十一年度マデ主力艦ト同一ニ補  
助艦ノ建造モ休日ニスルト云フコトデ  
アルナラバ、五億八百萬圓ノ金ハ現實  
ニ残リ得ルト一應ハ見做シテモ宜シイ  
ト思ヒマス、ケレドモ補助艦ニ至ッテハ  
海軍休日ニナッテ居ラヌノデアリマス  
ニ、正確ナル意味ニ申シマスナラバ、五

億八百萬圓ト云フモノハ、軍縮條約ニ  
依ル餘剩金デアルト云フコトハ非常ナ  
考ヘ違ヒデアルマイカ、斯様ニ私自身  
ハ諒解致シタノデアリマシテ、此考ヘ  
方ニ對シテ海軍大臣ハ如何ヤウナル考  
ヲ持ツテ居ラレルカ、御伺ヒ致シタノデ  
アリマス

法ヲ立テレバ補ヒガ出來得ル、即チ其  
補ヒヲ付レバ作戦計畫ノ遂行ニ支障ヲ  
來サズ、國防上不安ナキモノト認メル  
ト、斯ウ云フ意味ニナリマス  
ソレカラ次ニ、倫敦條約ノ結果トシ  
テ、兵力ニ不足ヲ感ジタ、其補填ヲ補充  
ト了解シテ宜シイカト、斯ウ云フヤウ  
ナ御尋ト承リマシタガ、一番最初ニ私  
ガ御説明申上ゲマシタヤウニ、海軍ノ  
軍備ト云フモノヲ、國トシテ備ヘマス  
ルト云フコトノ爲ニハ、何年カ毎ニ必  
ズ一ツノ補充計畫ト云フヤウナモノヲ  
立テ、サウシテ或ル高サノ兵力ヲズッ  
ト保持シテ行クト云フノガ、即チ海軍  
軍備ノ建前デアリマスルカラ、其間ニ、  
此度ハ倫敦條約ニ依ッテ、兵力量ノ上  
ニ、作戦上不便ヲ感ズルト云フヤウナ  
事柄カラ、相當ニソコニ補填ヲ必要ト  
スルト、斯ウ云フ意味ニナリマス、申上  
ゲマスマデモナク震災マデハ補助艦ノ  
艦艇製造ト云フコトニ付キマシテハ、  
一億一千萬圓ト云フモノガ毎年アルヤ  
ウニナツテ、即チソレガ出來テ、海軍ノ  
兵力ガ、陸軍ノ二十師團ト云フモノト  
同ジャウナ意味ニナツテ居ツタ、ソレガ  
震災ノ爲ニ、ソレヲ八千八百萬圓ニ致  
シタモノガ、ズット大體昭和六年度マデ  
續キマシタノデアリマシタ、是カラ以  
後ニ於キマシテモ、額ハ多少減リマシ  
テモ、或ル高サノモノヲドウシテモ持ツ

テ居ツテ、所謂艦齡ノ來タモノ、代換ト  
云フヤウナ意味モアツテ、ズット參ラナ  
ケレバナラヌノデアリマス、不足ノコ  
トヲ今マデノ補充ト諒解シテ宜イカト  
云フコトハ、今申上グマシタ意味デ御  
分リカト思ヒマス

第三ニ主力艦ニ付テハ繰延デアル、  
ソレガ要ラナクナッタカラト云フコト  
ヲ私ガ申シタノデハナイ、私ハ主力艦  
ノ建造ガ倫敦會議ニ於テ延期サレタト  
云フコトヲ申上ゲタ、延期サレタカラ、  
今此保留財源ヲ以テ主力艦ヲ造ル必要  
ハナクナッタカラ、其コトデ補助艦ヲ造  
レヤウニナツダノダト云フ意未ヲ申上

バナウニ六ヶノターニ云々意味ニ曰  
ゲマシタノデ、決シテ主力艦ガ要ラナ  
イト云フ意味デハナイノデアリマス、

今武田サンノ御話ノ通り、是ハ主力艦ヲ建造スルコトガ昭和十一年度マデ延ビタ――延期シタノデアリマス、其以

後ノ事柄ハ、無論造ラナケレバナラヌ  
ノデアリマスガ、其造ルト云フコトニ

付キマシテハ、是ハマアドウセ次ノ會議ガ昭和十年ニゴザイマシテ、其艦齡トカ、大キサトカ、色々ナコトハドウ云

フ風ニナリマスカ、是ハマア會議ニ依  
ルコトデアラウト思ヒマスガ、決シテ  
ソレガ要ラナイト云フ意味ヲ申上ゲマ  
シタ次第デハナイノデアリマス  
ソレカラ一番終リニ保留財源ト云フ  
モノハ、主力艦バカリデナク、補助艦ヲ

○武田委員

ガ、ドウモ或ハ海軍大臣ニ對シテ、禮ヲ失スル言葉ニ當ルカモ知リマセヌガ、先般來豫算委員會並ニ貴族院ノ本會議ニ於テ、各議員ト海軍大臣ノ間ニ行ハレマシタル質問應答ニ關スル速記錄ヲ共ニ拜見ヲ致シマスルノニ、一言ニシテ御答ニナツテ明瞭デアルベキ事柄ヲ、色々ニ言ヒ廻シヲ巧ミニナサル爲ニ、却ツテ海軍大臣ノ御趣意ガ明瞭ニナラヌヤウナ點ガ屢々アルノデアリマス、私ハ甚ダソレヲ遺憾ニ感ジテ居ル者デアリマス、何故色々ナスウ廻リ諄イ言ヒ廻シヲ爲サルノデアラウカト云フコトニ對シテ私ハ疑ヲ抱イテ居ル者デアリマス、率直ニ御答下サレバ宜カラウト思フノデアリマスルガ、今モ私ノ第一

兵力量ニ不足ナシナラナシ、アルナラ  
アル、斯ウ云フ工合ニ仰シヤツテ戴ケバ  
宜イヤウニ私ハ思フノデアリマス、然  
ルニ其點ハハツキリ仰シヤラナイ、不足  
デアルカ不足デナイカト云フコトヲ、  
ハツキリ仰シヤラナイ、不便ヲ感ズル、  
併シ兵種ニ於テハ違フケレドモ、總括  
的ノ噸數バアルンダカラ遺縁ハ出來  
ル、斯様ナ御話デアリマス、遺縁ガ出來  
ルト云フコトハ、國防上——此軍事上  
ノ専門ノコトハ吾々ニ解シマセヌカ  
ラ、敢テソレヲ伺フ譯デハナイ、唯其  
遣縁ト云フコトハ如何ナルコトデアツ  
テ、ソレガ此財政ニ如何ナル影響ヲ及  
ボスカ、隨ツテ又吾々ニ今委託サレテ居  
ル、減稅案ニ如何ナル影響ヲ及ボスカ

モ含ンデ取ツテアッタモノニアッタ、所ガ  
今度ノ倫敦會議ニ於テハ、主力艦ダケ  
ハ延ビタケレドモ、補助艦ト云フモノ  
ハヤハリ造ルコトニナツテ居ルカラ、是  
ガ全部餘剩金ニナツタ次第デハナイダ  
ラウト云フ御話デアリマシタガ、無論  
サウデアリマシテ、是ハ其中カラドウ  
シテモ補充計畫、又兵力ノ不足ト云フ  
ヤウナ意味ノ補填ト云フモノハヤラナ  
ケレバナラナインデアリマシテ、是ガ  
全部餘剩金ニナルト云フヤウナ意味デ  
ハナイノデ、ソレハ御尋ノ通リデアリ

ノ質問ニ對シテ、私ハ言葉ハドウ云フ  
言葉ヲ使ツタラ宜シイカ知レマセヌケ  
レドモ、對米七割——總括的ニ對米七  
割ト云フモノガアルト致シマシテモ、  
海軍大臣御自身ノ御説明ニアリマスル  
如ク、作戰計畫ニ對シテ考ヘテ見ルト  
云フト、各兵種ノ機能ガアルカラシテ、  
總括的ニ對米七割デアルカラト云ツテ  
豫定ノ作戰ハ出來ナイ、請リ作戰ニ不  
便ヲ感ズル、斯ウ云フ御言葉デアリマ  
シタ、其不便ヲ感ズルト云フコトバ、纏  
テ兵力量ニ不足ガアルト云フ意味ニ解  
シテ宜シシノデアリマセウカ、斯ウ云

ノ質問ニ對シテ、私ハ言葉ハドウ云フ  
言葉ヲ使ッタラ宜シイカ知レマセヌケ  
レドモ、對米七割——總括的ニ對米七  
割ト云フモノガアルト致シマシテモ、  
海軍大臣御自身ノ御説明ニアリマスル  
如ク、作戰計畫ニ對シテ考ヘテ見ルト  
云フト、各兵種ノ機能ガアルカラシテ、  
總括的ニ對米七割デアルカラト云ツテ、  
豫定ノ作戰ハ出來ナイ、詰リ作戰ニ不  
便ヲ感ズル、斯ウ云フ御言葉デアリマ  
シタ、其不便ヲ感ズルト云フコトハ、纏  
テ兵力量ニ不足ガアルト云フ意味ニ解  
シテ宜シイノデアリマセウカ、斯ウ云  
フコトヲ承ツテ居ルノデアリマス、故ニ  
兵力量ニ不足ナシナラナシ、アルナラ  
アル、斯ウ云フ工合ニ仰シャツテ戴ケバ  
宜イヤウニ私ハ思フノデアリマス、然  
ルニ其點ハハツキリ仰シャラナイ、不便ヲ感ズル、  
併シ兵種ニ於テハ違フケレドモ、總括  
的ノ數バアルンダカラ遺縁ハ出來  
ル、斯様ナ御話デアリマス、遺縁ガ出來  
ルト云フコトハ、國防上——此軍事上  
ノ専門ノコトハ吾々ニ解シマセヌカ  
ラ、敢テソレヲ伺フ譯デハナイ、唯其  
遣縁ト云フコトハ如何ナルコトデアッ  
テ、ソレガ此財政ニ如何ナル影響ヲ及  
ボスカ、隨ツテ又吾々ニ今委託サレテ居  
ル、減稅案ニ如何ナル影響ヲ及ボスカ

ト云フコトヲ知ラシガ爲ニ承ッテ居ルノデアリマス、故ニ其遣縁ト云フコトハ、ソレダケ特別ナル、所謂補填ト申シマス——私ガ補充ト云フ言葉ハ、詰リ從來ノ代換建造ノヤウナ、今大臣ノ御説明ノ如クカト思ヒマス、海軍ハ常ニハ一定ノ高サヲ持タナケレバナラヌ、ソレガ年所ヲ經ルニ隨ツテ、段々ト下ツテ來ルカラ、其下ルモノヲ補充スルノガ補充計畫デアル、斯ウ云フ御説明デ、其點ハ能ク吾々素人ニハ分リマシタ、サウシマスルト兵力量ノ不足、所謂大臣ノ御言葉デハ補填ト云フ——補填ト云フコトニ相成リマスルト、ドウシテモ此處ニ缺陷ガアル、穴ガアル、穴ガアルノヲ填メルカラ補填デアル、故ニ兵力量ニ缺陷アリト云フ前提デナケレバ、補填ト云フコトハ私ハナカラウト思フノデアリマス、故ニ私ハ詰リ補填ヲ要スルト仰シャル以上ハ、其補填ハ如何ナルコトノ補填ヲスルカト云フヤウナコトヲ私共ハ聽カヌデ宜シイノデアリマス、制限内ノ艦艇ダケノ遣縁ダケデ済ムカ、制限外ノ艦艇、船艦モ造ランケレバナラヌカ、或ハ船艦ノミナラズ、此飛行機ノヤウナ特殊ノ兵器ヲ造ヌカト云フヤウナ、色々ナコトガアルデアリマセウ、今現ニ大臣ノ御説明ノ

中ニモソレガアリマシタ、マア兎モ角  
モ此處ニ穴ガアル、穴ガアルカラ填メ  
ルカラ補填ト云フコトニ相成ルノデア  
リマスカラ、先ヅ此補填ト云フ以上ハ、  
此倫敦條約ニ於テハ我ガ海軍ノ兵力量  
ノ所定ノ作戦ヲ遂行ナサル上ニ於テ穴  
ガアルヤ否ヤ、之ヲ唯穴ガアルカナイ  
カ、斯様ニ承ハレバ宜イノデアリマス、  
ソレカラ此第二ノ點ニ於テモ略々分リ  
マシタガ、延期スルト云フコトハ、普通  
ニ政府デ他ノ豫算關係ニ於テ爲サル如  
キ繰延ト承知シテ宜シイノデアルカ、  
斯様ナコトヲ伺ッタノデアリマスガ、併  
シ略々私ノ意ヲ御認メニナツタヤウニ思  
フノデアリマス、無用デハナイ、延期デ  
アル、他日主力艦ガ入用デアル、唯如何  
ナルモノヲ造ルカト云フコトハ、又千  
九百三十五年ノ會議ニ於テ色々ナ相談  
ノ結果ヲ見ナケレバナラヌカラ、前ノ  
計畫通り其儘トハ言ヘナイガ、必要デ  
アル、是ダケハ御認メニナツタノデアリ  
マス、サウスルト同ジ繰延デハアルガ、  
普通ノ繰延ハ其計畫通り後年度ニ繰  
延ベルノデアルガ、此主力艦ノ繰延ハ  
其前ノ計畫通り繰延ルトハ言ヘナイ、  
多少ノ變更ハアルカモ知レナイケレド  
モ繰延ニハ相違ナイ、斯ウ云フヤウヤ  
意味ト私ハ了解ヲシテ居ルノデアリマ  
スルガ、重ネテ今ノ二點ニ付キ御説明  
ヲ願ヒタイト思ヒマス

○安保國務大臣 重ネテノ御尋ニ對シ  
付テノ事、是ハ御尋ノ通り作戦計畫ヲ  
維持遂行スル上ニ所要ノ兵力ニ不足ヲ  
感ジタノデアリマス、不足ヲ感ズルカ  
ドウカト云フ點ニ對シテハ不足ヲ感ジ  
タノデアリマス、併ナガラ此不足ト云  
フモノニ付テハ、補フ方法ガアル、ソ  
レハ今モ御話致シマシタヤウニ、又武  
田サンモ説明ヲサレマシタヤウニ補填  
ノ途ガアル、斯ウ、云フ意味デアリマス  
ソレカラ第二ノ主力艦ノ方ノハ、繰  
延ト御了解ニナッテモ宜シウゴザイマ  
ス、ソレハ經費ノ意味デハナク、主力艦  
其モノ、建造ト云フコトノ繰延ト、斯  
ウ云フ御趣意カト存ジマスガ、六年間  
後ニ延バスト云フコトニナリマシタノ  
デアリマス

○ 安保國務大臣 御尋ノ通リデアリマス、含ンデ居リマス  
○ 武田委員 然ラバ其補填ヲ含ンデ居ル、即チ穴ヲ埋メルト云フ意味ノ含ンデ居ル此整備計畫ナルモノハ、私共ノ漏レ承ツテ居リマス軍事參議官會議ニ於テ 陛下ノ御諮詢ニ奉答シ奉ッタ其奉答文ノ趣意ナルモノハ、豫定ノ作戦ノ兵力量ニ不足ガアル、其不足ヲ斯ウスクスク々々ノ方法デ補充スレバ不十分ナガラ稍々其不足ヲ補フニ足ルト云フヤウナ意味ノ奉答文デアルヤウニ仄ニ承ツテ居ルノデアリマス、併シ其内容ノ如何ハ兎モ角トシテ、是ハ吾々ノ知ル必要ハナイ、海軍大臣御自身能ク御承知ノコトデアリマスガ、其重大ナ奉答文ノ趣意ニ副フヤウニ整備計畫ガ出来テ居ルモノデアルカドウカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○ 安保國務大臣 御尋ノ通リ此度提出致シマンシタ計畫ニ於テハ、其邊ヲ考慮致シマシテ、軍令機關トモ能ク相談ヲ重ネテ、奉答文ノ趣意ニ副フヤウニ致シテ居ル考デアリマス

○ 武田委員 然ラバ更ニ御伺ヲ致シタイノデアリマスルガ、此整備計畫ノ中ニ、豫定ノ計畫ノ、先程最初ニ御伺ヒテ致シマシタ、海軍ガ一定ノ高サヲ持重ネテ、奉答文ノ趣意ニ副フヤウニ致シテ居ル考デアリマス

Digitized by srujanika@gmail.com

○安保國務大臣

重ネテノ御尋ニ對シ

何デアリマスカ

第五類第一號 地租法案(政府提出)外六件委員會議錄

第十二回 昭和六年二月十七日

ト、ソレカラ缺陷アリ、穴ガアル、ソレヲ補填スル計畫ノ意味ノモノトハ、如何ヤウニ分レテ居リマセウカ、私共ハ其細カナ、ドノ船艦ヲドウト云フヤウナコトヲ必ズシモ伺ハヌデモ宜シイノデアリマス、伺フコトガ出來レバ尙ホ結構デアリマスケレドモ、詰リ大體ノ金額デ宜シイノデアリマス、ドノ位ノモノガ普通ノ補充計畫デアッテ、ドノ位ノ程度マデハ補填即チ穴ヲ埋メル爲ノ補填ノ計畫デアルカト云フコトノ説明ヲ承リタインデアリマス

○安保國務大臣　此度ノ計畫ガ普通ノ補充計畫ト、不足ヲ補フ爲ノ補填ノ事ガ含ンデ居ルト云フコトハ其通リデアリマスガ、ドレカラ何處マデドウ云フ種類ノモノガ補充デアリ、何處ガ補填デアルト云フコトヲ、其種類ナリ金額ナリデ之ヲ分ケマスコトハ困難デアリマシテ、強ヒテ理窟ヲ附ケレバ分ケラレヌコトモナイカモ知レマセヌケレドモ、是ダケガ補充デアリ、是ダケガ補填デアルト云フコトノ金額等ヲ分ケマスコトハ困難デアリマス

○武田委員　左様ナ精密ナコトハ承リマセヌデモ宜シイノデアリマス、大體今大臣ノ御言葉デモ、嚴密ニ言ヘバ分ケラレヌコトハナイト云フ御言葉ノアリマシタ通り、極ク大體デ宜シイ、約ソ何割位ガ補充ノ方デ、約ソ何割位ガ補

填ノ方ニ向クカト云フヤウナ程度ノ御  
答辯デ宜シイノデアリマスガ、其點ニ  
付テノ御説明ヲ願ヒタウ存ジマス  
○安保國務大臣 何割ト云フコトモ一

ソレガモウ少シ餘計ノ數ノ活動ガ出來ルト云フヤウナ意味モ今度含ンデ居リマス、隨テ何處カラ何處マデガ補填ト云フ風ニハ一寸分ケ難イト云フノハ、サウ云フ點ヲ意味シテ居ルノデアルカサ左様御了承ヲ願ヒタイ

テ「此點ニ御注意ヲ願ヒタイ、帝國ノ保有勢力ト云フコトハ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、帝國ノ保有兵力量ト云フ意味ト解シテ宜イト思フノデアリマス、此意味ニ於テ、「帝國ノ保有勢力ニ依ツテ、帝國ノ國防ハ極メテ安固デアルト云フコ

填ノ方ニ向クカト云フヤウナ程度ノ御答辯デ宜シイノデアリマスガ、其點ニ付テノ御説明ヲ願ヒタウ存ジマス  
○安保國務大臣 何割ト云フコトモ一寸難カシイノデアリマスガ、例ヘバ潛水艦ナラ潛水艦ト云フモノ、勢力ガ不足デアルカラ、其補ヒト云フ意味ニ於テハ、潛水艦ト云フノデナシニ、ソレヲ驅逐艦デ補填スルト云フ場合ニ、併ナガラ驅逐艦ダケデハ補填ガ出來スト云フ意味ニモナリマスカラ、機械水雷ヲ應用スルト云フ場所ハソレデ補ヒヲ附ケルト云フコトニナル、ソレカラ飛行機ヲ以テ潛水艦ノ不足ナ所ヲ補フト云フヤウナ意味ニナリマスレバ、飛行機ト云フモノガ若干ノ補ヒニナル、斯ウナリマスシ、ソレカラ潛水艦其モノ、二次電池等ヲ換装スル——中ヲ潛ツテ動キマスル動力ノ土臺トナルモノヲ換裝スル費用ヲ要求シテ居ルノデアリマスガ、ソレカラ人ヲ養成致シマシテ、活動能力ヲ殖ヤシマスト云フコトハ、先般ノ大戦ニ獨逸ガ使ヒマンタ潛水艦ト云フモノモ、持テ居ル三分ノ一ハ活動シテ、後ノ三分ノ二ハ休養スルト云フ意味デヤツテ居ツタノデアリマスガ、之ヲ活動ノ十分ニ出來ルヤウニ、人モ其數ヲ殖ヤシテ訓練ヲシ、中ノ二次電池ト云フヤウナモノ、方法ヲ取レバ、十艘ナラ十艘ト云フモノデ以テ、比較的

足デアルカラ、其補ヒト云フ意味ニ於テハ、潛水艦ト云フノデナシニ、ソレヲ驅逐艦デ補填スルト云フ場合ニ、併ナガラ驅逐艦ダケデハ補填ガ出來スト云フ意味ニモナリマスカラ、機械水雷ヲ應用スルト云フ場所ハソレデ補ヒヲ附ケルト云フコトニナル、ソレカラ飛行機ヲ以テ潛水艦ノ不足ナ所ヲ補フト云フヤウナ意味ニナリマスレバ、飛行機ト云フモノガ若干ノ補ヒニナル、斯ウナリマスシ、ソレカラ潛水艦其モノ、二次電池等ヲ換装スル——中ヲ潛ツテ動キマスル動力ノ土臺トナルモノヲ換裝スル費用ヲ要求シテ居ルノデアリマスガ、ソレカラ人ヲ養成致シマシテ、活動能力ヲ殖ヤシマスト云フコトハ、先般ノ大戦ニ獨逸ガ使ヒマンタ潛水艦ト云フモノモ、持テ居ル三分ノ一ハ活動シテ、後ノ三分ノ二ハ休養スルト云フ意味デヤツテ居ツタノデアリマスガ、之ヲ活動ノ十分ニ出來ルヤウニ、人モ其數ヲ殖ヤシテ訓練ヲシ、中ノ二次電池ト云フヤウナモノ、方法ヲ取レバ、十艘ナラ十艘ト云フモノデ以テ、比較的

寸難カシイノデアリマスガ、其點ニ付テ何處カラ何處マデガ補填ト云フ風ニハ一寸分ケ難イト云フノハ、サウ云フ點ヲ意味シテ居ルノデアルカラ左様御了承ヲ願ヒタイ

○武田委員 其點ハ了承致シマシタ、兎ニ角モ此度ノ整備計畫ノ中ニハ、補充計畫ノ缺點ヲ補フ所ノ補填計畫ガアルト云フコトハ了解シテ宜シイト思ふノデアリマス、ソレニ付キマシテ伺ヒタイコトガアルノデアリマス、昨年ノ臨時議會ニ於キマシテ、此倫敦條約ニ缺陷アリヤ否ヤト云フ問題ノ起リマシテ、我黨ノ犬養總裁ハ質問ヲ致サレマシタノデアリマス、ソレハ幾ツカノ質問ガアリマシタガ、第一ノ質問ハ、此倫敦條約ニ依ツテ、國防ノ兵力量ニ缺陷アリヤナシヤト云フコトガ第一ノ質問デアリマシタ、第二ノ質問ハ、倫敦條約ノ目的ハ、世界ノ平和ト、國民負擔ノ輕減ニアルト云フコトデアルガ、然ラバ、一體ドノ位負擔ノ輕減ハ出來ルカト、斯様ナ質問デアッタノデアリマス、第一ノ質問ニ對シテハ斯様ナ御答辯ニナツテ度協定ヲ致シマシタ條約案ニ記載ヲ致シテアリマスル帝國ノ保有勢力ニ依ツ

テ「此點ニ御注意ヲ願ヒタイ、帝國ノ保有勢力ト云フコトハ、言葉ヲ換ヘテ言  
へバ帝國ノ保有兵力量ト云フ意味ト解  
シテ宜イト思フノデアリマス、此意味  
ニ於テ、「帝國ノ保有勢力ニ依ツテ帝  
國ノ國防ハ極メテ安固デアルト云フコ  
トヲ責任ヲ以テ申シマス、其次ニハ軍  
縮ニ依ツテ生ズベキ所ノ剩餘金ヲ以テ、  
國民負擔ノ輕減ニ充テルコトガ出來ル  
ヤ否ヤト云フ御質問デアリマス、是ハ  
此度ノ協定通リニ致シマスレバ、果シ  
テ幾何ノ財源ノ剩餘ガ出來ルカト云フ  
コトハ、今日計算ハ出來マセヌ、ソレ  
ハ犬養君モ言ハレル通リ此度ノ保留條  
項ニ依ツテ、相當ノ代換建造ノ繰上グノ  
權利ヲ得テ居ルノデアリマス、其得マ  
シタ權利ヲ如何ナル程度マデ行使スベ  
キヤト云フコトハ、條約ノ批准ガアリ  
マシタ後ニ於テ慎重考究ヲ致シ、然ル  
後ニ決定スペキ問題デアリマス」斯様  
ニアルノデアリマス、故ニ犬養氏ノ國  
防ニ缺陷アリヤ否ヤ、兵力量ニ缺陷ア  
リヤ否ヤト云フ第一ノ御質問ニ對シテ  
ハ、濱口首相ハ帝國ノ兵力量ニ依ツテ、  
即チ倫敦條約ニ依ツテキメラレタル帝  
國ガ保有スペキ兵力量ニ依ツテ、國防ニ  
何等ノ不安ナシ、斯ウ云フ御答辯デアッ  
タノデアリマス、其意味カラ言ヘバ、今  
穴ガアルトハ言ヘナイコトデアルノデ  
アリマス、穴ガアツテ補填ト云フコトガ



